

生徒の学習状況の評価（評定）について

教 務 部

1 目標に準拠した評価 ～ 絶対評価 ～

学習指導要領に示されている目標に照らし合わせて、その実現状況をみる絶対評価をおこないます。評価にあたっては、3段階の観点別評価を実施し、評定については、観点別評価を統合した学習到達度を5段階で示します。

2 観点別学習状況の評価と評定

①各教科の評価の観点

〔関心・意欲・態度〕〔思考・表現〕〔技能〕〔知識・理解〕の
4観点 ※国語科は5観点

②評価方法（評価の基礎資料）

「教科年間指導計画」を参照してください。後日 HP にアップします。

③観点別学習状況の評価

目標の実現状況をABCの3段階で示します。評価にあたっては下の表を基準とします。

A	十分満足できる	80%以上の達成値
B	おおむね満足できる	50%以上～80%未満
C	努力を要する	50%未満の達成値

④評定

上記③観点別学習状況の評価を点数化してその合計点で5段階の評定を出します。下の表が評定の基準となります。

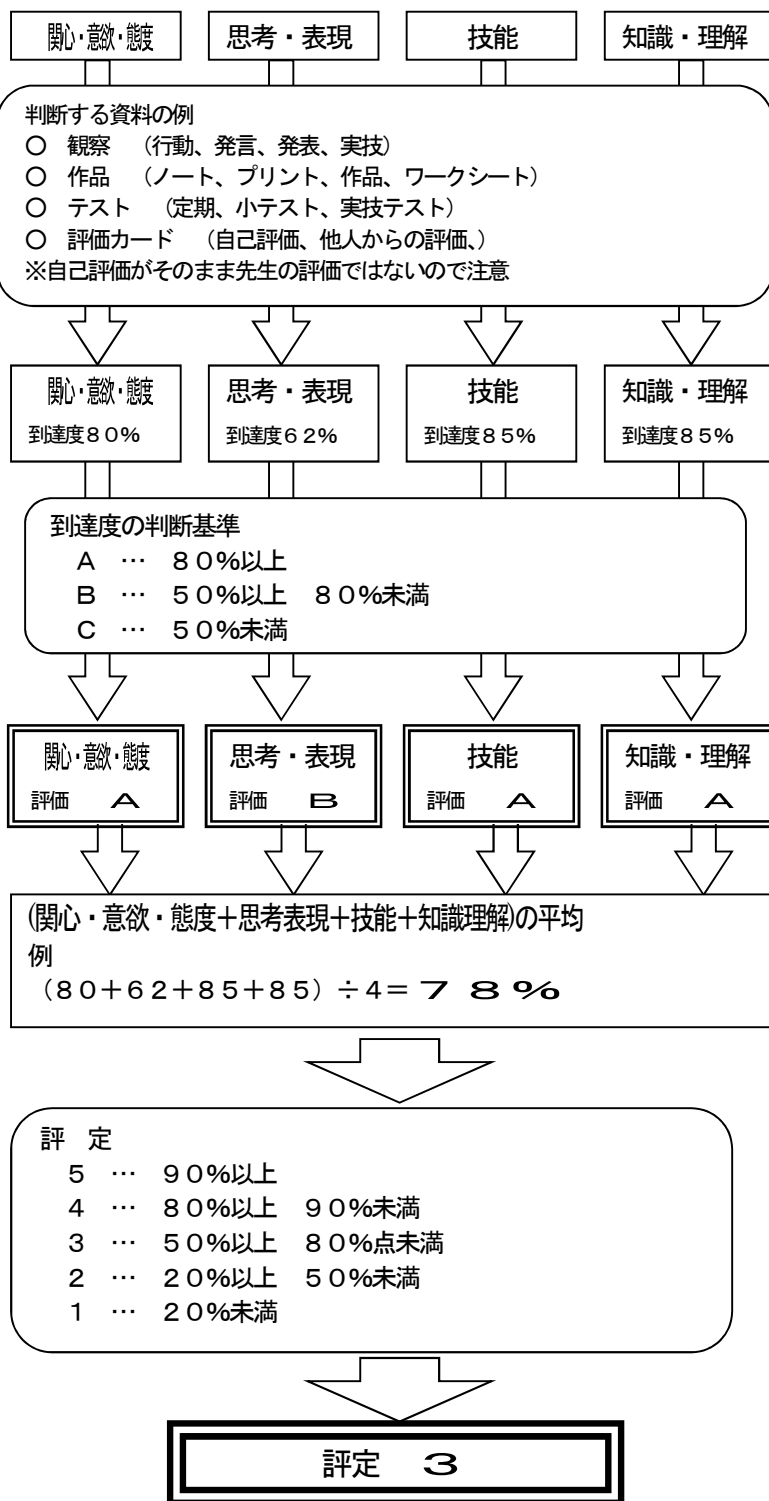
なお、「達成値」は、あくまで「目標に対する達成度」を表す数字です。

5	十分に満足でき、特に高い程度のもの	90%以上の達成値
4	十分に満足できると判断されるもの	80%以上～90%未満
3	おおむね満足できると判断されるもの	50%以上～80%未満
2	努力を要すると判断されるもの	20%以上～50%未満
1	一層努力を要すると判断されるもの	20%未満の達成値

★観点別評価と評定の関係

A	80%	十分に満足でき、特に高い程度のもの	5	90%以上
		十分に満足できると判断されるもの	4	80%以上
B	50%	おおむね満足できると判断されるもの	3	50%以上
C		努力を要すると判断されるもの	2	20%以上
		一層努力を要すると判断されるもの	1	

(参考) 評価がでるまでの流れ



すべて「A」でも、「4か5」です。